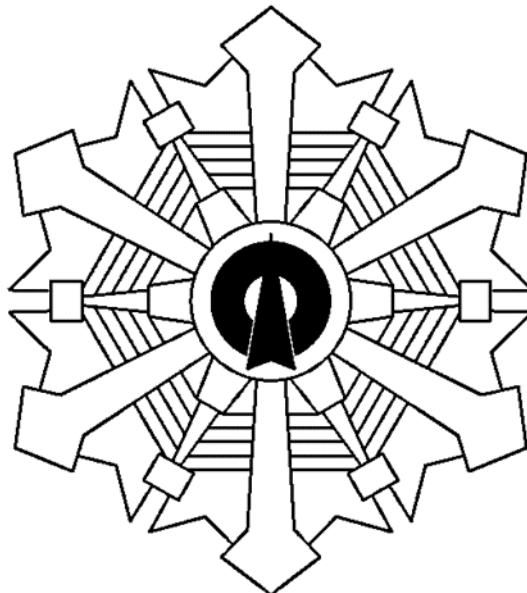


消 防 年 報

令和5年（2023）版



島根県大田市消防本部

はしがき

この消防年報は、大田市消防本部における消防の現勢及び令和5年中における消防業務に関する諸般の資料を集録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般にご理解いただくために編集しました。

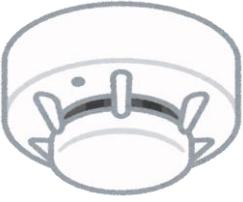
なお、この内容については令和6年4月1日現在をもって集録していますが、これにより難いものについては当該表にそれぞれ記載する年月日で表しております。

令和6年6月

大田市消防本部

絵で見る消防年報

令和6年4月1日現在

管内人口	管内世帯数	管内面積	消防署所の数
			 消防本部 1 消防署 2 出張所 1
31,925人	15,371世帯	435.34km ²	
消防職員の数	平均年齢	消防車の数	救急車の数
			
84名	39.6歳	6台	6台
火災件数 (令和5年中)	出火原因 (令和5年中)	住宅用火災警報器 設置率	救急出場件数 (令和5年中)
			
18件	1位 たき火	86%	2,098件
防火対象物数	危険物施設数	消防水利 (公設)	消防団員数
	 製造所 2施設 貯蔵所 119施設 取扱所 59施設		 定数 780人 実員 745人
1,487棟			

目 次

1. 概 况

1. 大田市消防本部管内図	1
2. 管内の面積・人口・世帯数	2
3. 消防の沿革	3
4. 歴代消防長	12
5. 消防庁舎等の現況	13

2. 総 務 編

1. 組織及び機構	14
2. 事務分掌	16
3. 消防職員配置状況	21
4. 階級別勤務年数調	22
5. 階級別年齢調	22
6. 常備消防予算及び主要事業	23

3. 予 防 編

1. 防火対象物現況調	24
2. 数量別・類別製造所等設置数	25
3. 危険物製造所等の申請取扱件数	26
4. 消防事務手数料徴収状況	26
5. 各種届出処理状況	27

4. 警 防 編

1. 火災	
概要	28
出火原因別火災件数・損害額	29

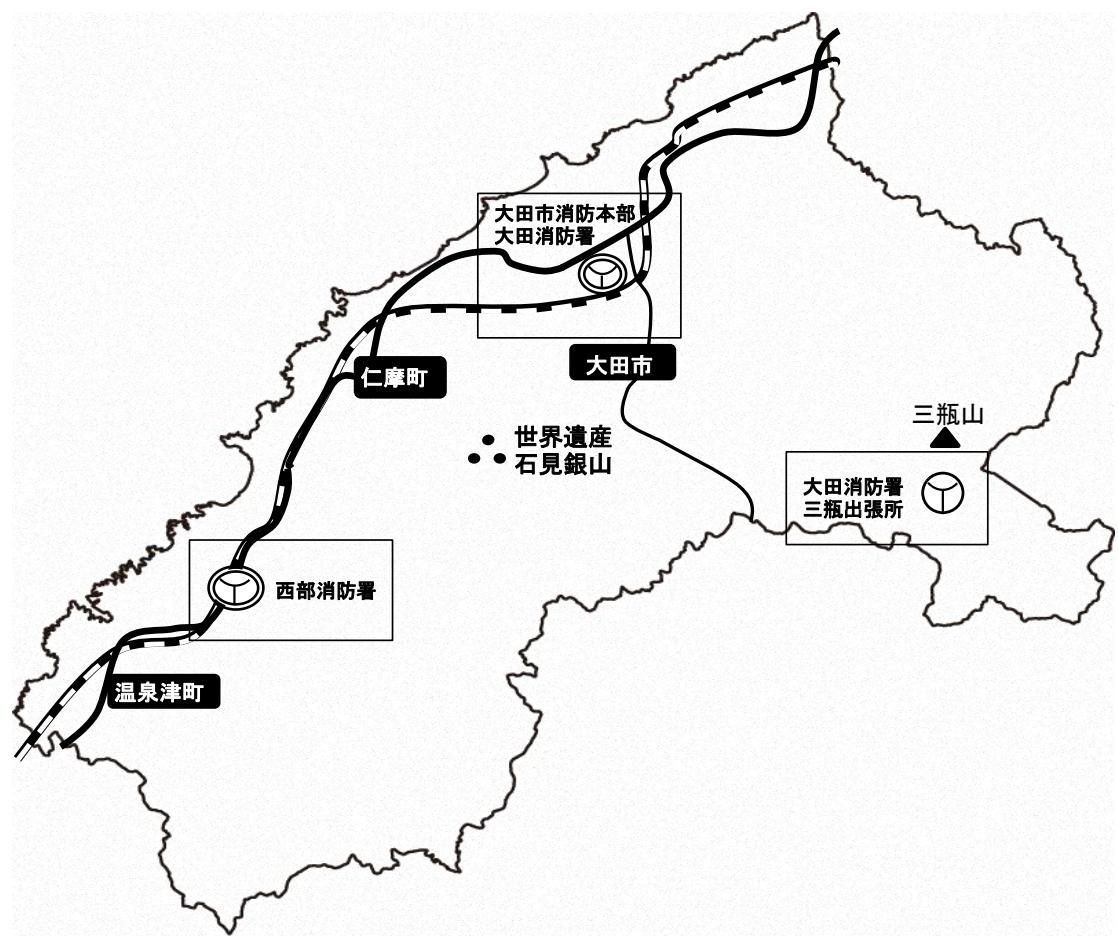
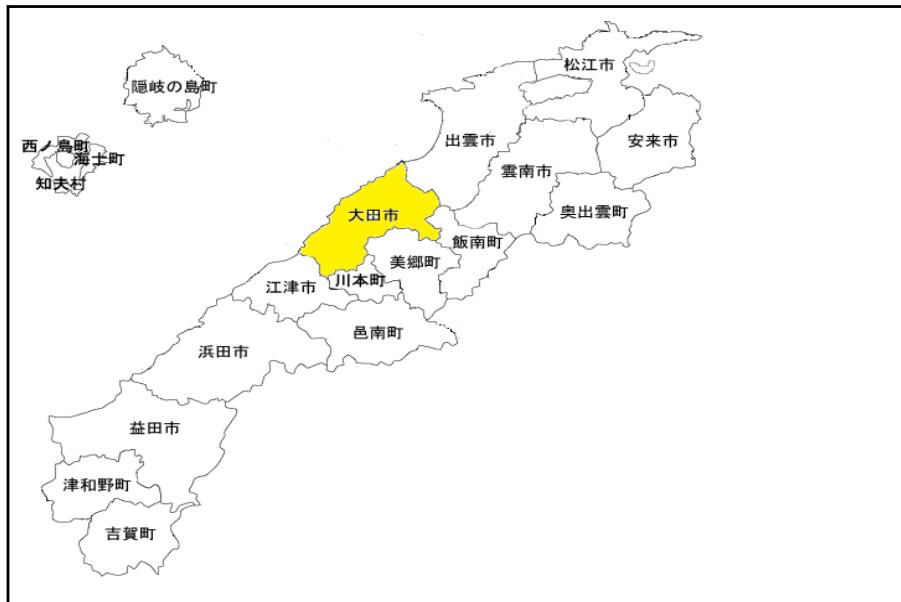
町別火災件数及び損害額	30
月別町別火災発生状況	31
2. 救急	
概要	32
署所別救急出場件数及び搬送人員	33
月別出場件数及び搬送人員	34
町別救急出場件数	35
年齢・傷病程度別搬送人員	36
ドクターへリ地区別搬送人員	37
3. 救助	
概要	38
防災ヘリコプター要請件数	38
4. 消防	
消防車両現有数	39
無線通信施設	40
消防水利地区別状況	41

5. 消 防 団 編

1. 大田市消防団の沿革	42
2. 歴代消防団長	52
3. 組織及び報酬等	53
4. 編成装備	54

1. 概況

1. 大田市消防本部管内図



2. 管内の面積・人口・世帯数

町名	世帯数 (世帯)	人口 (人) * 外国人含む			管内面積 (Km ²)
		男	女	計	
大田町	3,770	3,911	4,088	7,999	435.34
川合町	812	706	823	1,529	
三瓶町	池田	295	274	320	
	志学	235	224	255	
	多根	80	75	99	
山口町	127	119	143	262	
富山町	215	189	217	406	
朝山町	191	198	230	428	
波根町	502	533	578	1,111	
久手町	1,778	1,796	1,976	3,772	
鳥井町	473	498	538	1,036	
長久町	1,428	1,458	1,581	3,039	
静間町	527	591	633	1,224	
五十猛町	537	590	554	1,144	
大屋町	152	134	147	281	
久利町	538	620	630	1,250	
大森町	194	183	205	388	
水上町	209	216	196	412	
祖式町	141	126	157	283	
大代町	159	135	157	292	
温泉津町	湯里	237	191	239	430
	温泉津	485	437	495	932
	井田	236	229	232	461
	福波	312	281	277	558
仁摩町	仁万	1,077	1,056	1,174	2,230
	宅野	224	210	235	445
	大国	180	155	175	330
	馬路	257	217	219	436
合計		15,371	15,352	16,573	31,925

3. 消防の沿革

西暦	元号	月	日	主な出来事
1958	昭和33	7	1	消防本部・消防署を設置し、職員4名に大田分団より団員30名を消防署勤務員に委託し、常備消防発足。
		10	1	大田町諏訪に木造2階建の庁舎を建築、大田分団から移管した自動車ポンプ2台を配置する。
1960	昭和35	4		消防職員5名増員、以来昭和36年に3名、昭和37年に2名を増員、昭和39年の市立大田中学校の大火を契機に12名、昭和40年2名、救急業務開始に伴い昭和44年に3名と逐年増員され、職員数31名となる。
1961	昭和36	12		水槽付消防ポンプ自動車1台を購入、昭和38年に超短波無線機の基地局と移動局を設置する。昭和41年度には消防庁舎の新築に着手、翌年5月大田町中心部に鉄筋コンクリート2階建702m ² の新庁舎完成。
1967	昭和42	6		日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台の寄贈を受ける。 昭和43年救急業務実施の政令指定を受け、同年1B型救急自動車及び器材を購入し、同年9月1日より業務を開始する。
1970	昭和45	12		大型水槽付ポンプ自動車を購入、更に昭和46年春、国立公園三瓶山に天皇皇后両陛下をお迎えして開催された全国植樹祭を期して林野火災の撲滅を計るために林野火災工作車を購入する。
1972	昭和47	3	21	島根県知事へ大田市外2町環境衛生組合規約の変更許可を申請。
		3	28	規約変更許可に基づき大田市外2町消防衛生組合（大田市、温泉津町、仁摩町）に準備班を設け、準備業務を開始する。
		5		救急自動車1台を購入する。
1973	昭和48	1	10	大田消防署三瓶出張所庁舎竣工。
		3		消防ポンプ自動車2台を購入する。
		3	31	大田消防署西部分署庁舎竣工。
		4	1	消防無線は、本部（署）基地局1・移動局7・携帯無線局2、西部分署固定局1・移動局2、三瓶出張所固定局1・移動局1とし、増設整備完了し業務を開始。20名の職員の採用をはかり、消防本部9名、大田消防署26名、大田消防署西部分署11名、大田消防署三瓶出張所5名、総員51名にて広域消防業務を開始。
1974	昭和49	4	1	8名の職員を採用し消防本部9名、大田消防署28名、大田消防署西部分署15名、大田消防署三瓶出張所7名、総員59名にて広域消防業務を推進している。
		7	1	1名の職員を補充採用する。
		8		小型動力ポンプB3級1台、同年12月消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入し増強した。同年11月大田石油株式会社より、救助工作車の寄贈を受けた。
1975	昭和50	4		2B型救急自動車及び器材を購入、三瓶出張所へ配置する。
1976	昭和51	7	1	2名の職員を採用、消防本部9名、大田消防署28名、大田消防署西部分署17名、大田消防署三瓶出張所7名、総員61名となる。

西暦	元号	月	日	主な出来事
1977	昭和52	5		携帯無線機（1W）1基購入、同年第1回島根県救助技術大会の開催にともない救助器具の購入、訓練を開始し、救助技術の向上につとめ参加する。同年7月1日3名の職員を採用、消防本部9名、大田消防署29名、大田消防署西部分署17名、大田消防署三瓶出張所9名、総員64名となる。同年12月17日島根県共済農業協同組合連合会より2B型救急自動車の寄贈を受け西部分署へ配置した。
1978	昭和53	5		携帯無線機（1W）3基購入、同年7月救助工作車（寄贈）に無線移動局を設置し整備を強化した。同年7月1日職員の異動により2名採用、消防本部10名、大田消防署27名、大田消防署西部分署17名、大田消防署三瓶出張所11名、総員65名となる。
1979	昭和54	7	1	職員の異動により2名採用、消防本部10名、大田消防署28名、大田消防署西部分署17名、大田消防署三瓶出張所11名、総員66名となる。
1980	昭和55	9	12	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車（火災保険号「さんべ」）1台の寄贈を受け、大田消防署三瓶出張所へ更新配置する。
1981	昭和56	3	4	消防庁長官表彰の表彰旗を受ける。
		3	26	島根県共済農業協同組合連合会より2B型救急自動車1台の寄贈を受け、三瓶出張所に配置する。
		11	26	化学消防ポンプ自動車II型（水槽1,300ℓ、薬槽500ℓ）を購入、大田消防署に配置する。
1982	昭和57	4	1	職員異動に伴い1名を採用する。
		9	15	日本消防協会から2B型救急自動車1台の寄贈を受ける。 大田消防署に配置する。
1983	昭和58	4	1	職員異動に伴い2名を採用する。
1984	昭和59	4	1	消防長専任となる。
		7	6	大田消防署西部分署仮眠室増築（10m ² ）。
		11	12	島根県共済農業協同組合連合会から2B型救急自動車1台の寄贈を受け、西部分署に配置する。
1985	昭和60	4	1	職員異動に伴い2名を採用する。
		11	21	水槽付消防ポンプ自動車II型（2,000ℓ）を購入、大田消防署に配置する。 水槽付大型消防自動車（2号車）を廃車する。
1987	昭和62	2	20	消防ポンプ自動車（CD-I型）購入、西部分署に配置する。
		4	1	通信網強化のため温泉津町高山に中継局を新設する。単一無線設備を多重無線設備に変更し、消防団緊急伝達システムを導入する。消防通信指令装置（FD-11）を新設し、通信指令室を増改築する。 消防法の改正を受け大田消防署に救助隊発足。
1988	昭和63	2	29	救助工作車（II型）購入、大田消防署に配置する。
		6	3	日本防火協会から広報車の寄贈を受けた。大田消防署に配置する。

西暦	元号	月	日	主な出来事
1988	昭和63	8	1	職員1名を採用する。
		8	2	日本消防協会から2B型救急自動車1台の寄贈を受ける。 三瓶出張所に配置する。
1989	平成元	2	8	消防ポンプ自動車(CD-I型)を購入、大田消防署に配置する。
1990	平成2	3	9	消防ポンプ自動車(CD-I型)を購入、大田消防署に配置する。
		3	30	大田消防署三瓶出張所増築(96m ²)。
		4	1	消防本部、消防署の組織を一部あらため本部2課を3課制とし、大田消防署西部分署の分隊を小隊とした。
		10	27	島根県共済農業協同組合連合会から2B型救急自動車1台の寄贈を受ける。 大田消防署に配置する。
1991	平成3	3	30	消防本部、大田消防署庁舎改修及び増築工事(373m ²)・訓練塔新設。
		4	1	職員異動に伴い1名採用する。
		8	2	日本消防協会から2B型救急自動車1台の寄贈を受け、大田消防署に配置する。
		9	11	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車(火災保険号「さんべ」)1台の寄贈を受け、三瓶出張所に配置する。
1992	平成4	4	1	職員異動に伴い1名採用する。
		5	18	広報車を更新し大田消防署に配置する。
		7	20	林野火災工作車を更新し、大田消防署に配置する。
1993	平成5	4	1	機構改革に伴い、大田消防署西部分署を西部消防署とした。消防力の強化を図り、職員12名を採用し、消防本部10名、大田消防署34名、西部消防署23名、大田消防署三瓶出張所11名、総員78名となる。
		10	1	島根県防災航空隊発足に伴い、島根県へ航空隊員として職員1名を派遣。
		11	29	2B型救急自動車を購入、大田消防署に配置する。
1994	平成6	1	20	西部消防署増築(64m ²)。
		3	8	安田生命保険相互会社から2B型救急自動車の寄贈を受け西部消防署に配置する。
		3	29	署所の固定局無線設備の老朽化及び管内の通信不感地帯を解消するため、西部消防署の通信方式を既設の高山中継基地局を利用した方式に変更改修、又、三瓶出張所の無線設備を従来方式に更新、更に消防本部には基地局を新たに設置した。併せて、大規模災害の対応に備えるため、消防本部及び三瓶出張所の基地局には、全国共通波を装備し、より一層の消防業務の拡充を図った。
		4	1	職員1名を採用し、総員79名となる。消防力強化に伴い、大代町の救急業務は西部消防署の管轄区域とした。
		4	4	救急救命東京研修所へ2名入校。 平成6年11月4日、国家試験に2名合格する。

西暦	元号	月	日	主な出来事
1995	平成7	1	17	阪神淡路大震災発生に伴い、自治省消防庁より応援要請があり消防部隊（5名）
		～	19	神戸市へ災害派遣する。
		4	1	退職に伴い職員1名採用する。
		4	4	救急救命九州研修所へ2名入校。 平成7年11月2日、国家試験に2名合格する。
1996	平成8	9	5	緊急消防援助隊登録（救急部隊）。
		3	22	高規格救急自動車を購入、大田消防署に配置する。
		5	1	高規格救急自動車の運用を開始する。
1997	平成9	10	14	救急救命九州研修所へ2名入校。 平成9年4月18日、国家試験に2名合格する。
		4	1	島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣。
		10	7	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成10年4月17日、国家試験に合格する。
1998	平成10	4	1	退職に伴い職員1名採用する。
		10	7	救急救命九州研修所へ2名入校。 平成11年4月14日、国家試験に2名合格する。
1999	平成11	4	1	退職に伴い職員2名採用する。
		4	10	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成11年11月10日、国家試験に合格する。
		6	1	大田市、温泉津町、仁摩町の1市2町では、地域振興及び介護保険を広域的に推進するため、大田市外2町消防衛生組合を母体とした大田市外2町広域行政組合に組織を変更する。
		11	18	高規格救急自動車を購入し、西部消防署に配置する。
2000	平成12	12	10	2B型救急自動車を購入し、大田消防署三瓶出張所に配置する。
		4	1	退職に伴い職員1名採用する。
				島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣。
2001	平成13	8	21	消防指揮車を更新し、大田消防署に配置する。
		10	21	大田地区危険物保安協会から防火広報車の寄贈を受け、大田消防署に配置する。
		12	11	化学消防ポンプ自動車（II型）更新、大田消防署に配置する。
2002	平成14	4	1	退職に伴い職員2名を採用する。
		10	16	2B型救急自動車を更新し、大田消防署に配置する。
		11	9	水槽付ポンプ自動車を更新し、大田消防署に配置する。
		3	31	緊急消防援助隊登録（救助部隊）。

西暦	元号	月	日	主な出来事
2002	平成14	4	1	退職に伴い職員2名採用する
		9	2	2B型救急自動車を更新し、西部消防署に配置する。
2003	平成15	1	17	救助工作車（II型）を更新し、大田消防署に配置する。
		4	1	退職に伴い職員2名採用する。 島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣。
2004	平成16	10	7	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成16年5月12日、国家試験に合格する。
		11	29	大田市外2町広域行政組合発足30周年を記念し、式典及び記念誌を発行する。
2005	平成17	4	1	退職に伴い職員2名採用する。
		10	4	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成17年4月19日、国家試験に合格する。
2006	平成18	2	7	消防ポンプ自動車（CD-1型）を更新し、西部消防署に配置する。
		4	1	退職に伴い職員7名採用する。 三瓶出張所職員を大田消防署に含め大田消防署より派遣する。
2007	平成19	4	1	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成17年11月30日、国家試験に合格する。
		10	1	大田市、温泉津町、仁摩町の1市2町の合併により新大田市となり、大田市消防部、大田市消防本部に組織及び名称を変更する。
2008	平成20	10	3	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成18年4月19日、国家試験に合格する。
		2	23	林野火災工作車を更新し、大田消防署に配置する。
2009	平成21	4	1	島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣。 退職に伴い職員6名採用する。総員78名となる。 三瓶出張所職員を専属に配置する。
		9	14	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成19年5月7日、国家試験に合格する。
2010	平成22	1	15	高規格救急自動車を購入し、大田消防署に配置する。
		4	1	退職に伴い職員6名採用する。総員78名となる。
2011	平成23	9	13	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成20年4月30日、国家試験に合格する。
		10	31	消防ポンプ自動車（CD-1型）を更新し、大田消防署に配置する。
2012	平成24	4	1	退職に伴い職員5名採用する。総員78名となる。

西暦	元号	月	日	主　な　出　来　事
2008	平成20	7	15	新庁舎建設準備委員会を立上げ、新庁舎建設に職員が取組む。
		9	9	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成21年4月14日、国家試験に合格する。
		10	10	大田消防署設置の通信指令台を更新する。
2009	平成21	4	1	島根県へ消防防災航空隊員として職員1名を派遣。 退職に伴い職員2名採用する。総員76名となる。
		9	9	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成22年4月13日、国家試験に合格する。
		10	23	消防ポンプ自動車（CD-1型）を更新し、大田消防署に配置する。
2010	平成22	12	10	高規格救急自動車を更新し、大田消防署に配置する。
		4	1	退職に伴い職員4名採用する。総員77名となる。
		9	9	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成23年4月12日、国家試験に合格する。
2011	平成23	3	12	東北地方太平洋沖地震発生に伴う緊急消防援助隊第1次隊～2次隊（救急隊2隊8名）を宮城県へ派遣する。
		3	31	緊急消防援助隊追加登録（消火部隊）。
		4	1	退職及び消防力の強化を図り、職員8名を採用する。総員84名となる。
2012	平成24	6	20	大田市役所危機管理室設立に伴い、室長として職員1名派遣。
		9	7	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成24年4月13日、国家試験に合格する。
		10	3	高規格救急自動車を更新し、西部消防署に配置する。
2013	平成25	11	28	消防ポンプ自動車（CD-1型）を更新し、大田消防署三瓶出張所に配置する。
		4	1	退職に伴い職員3名採用する。島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣。島根県消防学校へ教官として職員1名を派遣。総員83名となる。
		9	10	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成25年4月8日、国家試験に合格する。
		10	18	石見銀山農業協同組合より指揮支援車1台の寄贈を受け大田消防署に配置する。
		12	20	高規格救急自動車を更新し、西部消防署に配置する。
		4	1	退職に伴い職員3名採用する。総員84名となる。
		4	4	救急救命東京研修所へ1名入校。 平成26年3月31日、国家試験に合格する。

西暦	元号	月	日	主な出来事
2013	平成25	9	3	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成26年3月31日、国家試験に合格する。
		10	17	高規格救急自動車を更新し、大田消防署に配置する。
2014	平成26	4	1	退職に伴い職員1名採用する。総員83名となる。 大田市役所危機管理室へ職員1名派遣する。
		4	4	救急救命東京研修所へ1名入校。 平成27年3月31日、国家試験に合格する。
		5	22	大田市消防本部・消防署新庁舎竣工。
		5	27	大田市消防本部・消防署新庁舎竣工式。
		6	1	大田市消防本部・消防署新庁舎において業務開始。
		8	25	平成26年8月豪雨に伴い、島根県緊急消防援助隊3次隊～4次隊（救助隊2隊10名）を広島県広島市へ派遣する。
		～	30	
2015	平成27	9	1	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成27年3月31日、国家試験に合格する。
		4	1	退職に伴い職員2名採用する。総員84名となる。大田市役所危機管理室へ職員1名、島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣する。
		4	3	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成28年3月31日、国家試験に合格する。
		9	2	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成28年3月31日、国家試験に合格する。
2016	平成28	11	28	高規格救急自動車を更新し、三瓶出張所に配置する。
		4	1	退職に伴い職員4名採用する。総員83名となる。 大田市役所危機管理室へ職員1名を派遣する。 緊急消防援助隊追加登録（救急部隊）
		4	4	救急救命東京研修所へ1名入校。 平成29年3月28日、国家試験に合格する。
2017	平成29	9	2	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成29年3月28日、国家試験に合格する。
		4	1	退職に伴い職員1名採用する。総員82名となる。
		4	5	救急救命東京研修所へ1名入校。 平成30年3月26日、国家試験に合格する。
2018	平成30	9	4	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成30年3月26日、国家試験に合格する。
		4	1	2名採用する。総員84名となる。 大田市役所危機管理課へ職員1名、島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣する。

西暦	元号	月	日	主な出来事
2018	平成30	4	1	機構改革に伴い、警防課を専従とし3名を配置する。
		4	5	救急救命東京研修所へ1名入校。 平成31年3月27日、国家試験に合格する。
		4	9	午前1時32分、大田市東部を震源とする島根県西部地震発生（M6.1、最大震度5強）。
		7 ～ 15	7	平成30年7月豪雨災害に伴う島根県緊急消防援助隊1次隊～4次隊（消防部隊4隊 20名）を広島県呉市へ派遣する。
		8	31	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成31年3月27日、国家試験に合格する。
		10	1	高規格救急自動車を更新し、大田消防署に配置する。
		10	26	林野火災工作車を更新し、大田消防署に配置する。
		4	1	退職に伴い職員1名採用する。総員84名となる。 大田市役所危機管理課へ職員1名を派遣する。
		4	3	救急救命東京研修所へ1名入校。 令和2年3月31日、国家試験に合格する。
		2020	令和2	25
2019	平成31	3	23	総務省消防庁より緊急消防援助隊に係る無償使用（高機能救命ボート）をうけ、大田消防署に配置する。
		3	25	大田消防署三瓶出張所新庁舎竣工。新庁舎において業務開始。
		3	30	大田消防署三瓶出張所新庁舎竣工式。
		4	1	退職に伴い職員2名採用する。総員83名となる。
		9	4	救急救命九州研修所へ1名入校。 令和3年3月26日、国家試験に合格する。
2021	令和3	3	26	西部消防署新庁舎竣工。
		3	30	西部消防署新庁舎竣工式。
		4	1	西部消防署新庁舎において業務開始。 退職に伴い職員2名採用する。総員84名となる。大田市役所総務部危機管理課へ職員1名、島根県消防学校へ教官として職員1名、島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣する。
				機構改革に伴い、大田消防署通信指令室を消防本部通信指令課とした。通信指令の強化を図り9名を専従とする。

西暦	元号	月	日	主　な　出　来　事
2021	令和3	4	7	救急救命九州研修所へ1名入校。 令和4年3月31日、国家試験に合格する。
		4	26	高規格救急自動車を更新し、大田消防署に配置する。
2023	令和5	2	6	消防指揮車を更新し、大田消防署に配置する。
		3	1	消防通信指令システム（高機能指令台）更新、運用開始。
		4	1	退職に伴い職員1名採用する。総員84名となる。 大田市職員定数条例の一部改正により定数92名となる。
2024	令和6	3	29	職員1名が救急救命士国家試験に合格する。
		4	1	退職に伴い2名採用する。総員84名となる。大田市役所総務部危機管理課へ職員1名、島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣する。

4. 歷代消防長

歴代	氏名	就任年月日	退職年月日
初代	田原孝二老	昭和33年 7月 1日	昭和41年 4月 21日
二代	福田芳晴	昭和41年 4月 22日	昭和43年 3月 31日
三代	津森甚三郎	昭和44年 8月 1日	昭和45年 3月 23日
四代	祝部通夫	昭和45年 7月 10日	昭和54年11月 30日
五代	鉢子郎	昭和55年 2月 20日	昭和59年 2月 19日
六代	塚田操	昭和59年 4月 1日	昭和60年 3月 31日
七代	山崎栄吉	昭和60年 4月 1日	昭和60年 4月 24日
八代	岩谷芳春	昭和60年 4月 25日	昭和63年 3月 31日
九代	妹尾義春	昭和63年 4月 1日	昭和63年 4月 30日
十代	大築和之	昭和63年 5月 1日	平成7年 3月 31日
十一代	米原孝美	平成7年 4月 1日	平成11年 3月 31日
十二代	田中清英	平成11年 4月 1日	平成14年 3月 31日
十三代	朝倉光彦	平成14年 4月 1日	平成15年 3月 31日
十四代	品川昭治	平成15年 4月 1日	平成16年 3月 31日
十五代	石田國雄	平成16年 4月 1日	平成17年 3月 31日
十六代	福田幸司	平成17年 4月 1日	平成17年 9月 30日
合併初代	福田幸司	平成17年10月 1日	平成18年 3月 31日
二代	松井功	平成18年 4月 1日	平成20年 3月 31日
三代	松本和広	平成20年 4月 1日	平成22年 3月 31日
四代	鳥萼尾博	平成22年 4月 1日	平成23年 3月 31日
五代	石賀好喜	平成23年 4月 1日	平成28年 3月 31日
六代	幸村卓己	平成28年 4月 1日	令和6年 3月 31日
七代	山本智靖	令和6年 4月 1日	現在

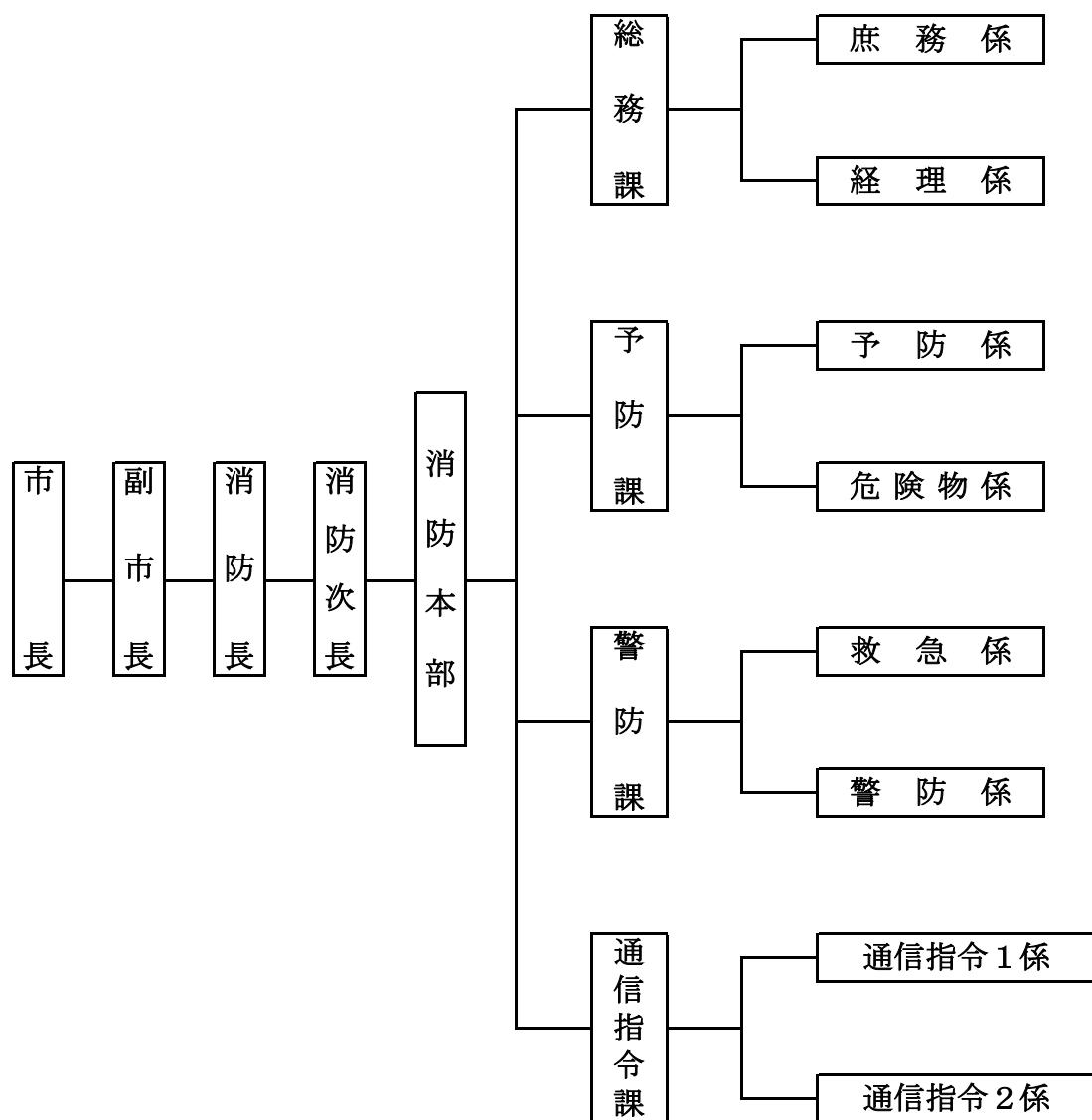
5. 消防庁舎等の現況

名 称	所 在 地	構 階 造 層	延面積 m ²	敷地面積 m ²	摘要
消防本部 (消防署)	大田市大田町大田 イ1番地1	庁舎棟 鉄筋コンクリート造 4階建 訓練塔 鉄筋コンクリート造 5階建	2,977.38 247.20	5,609.06	H26.5.22 竣工
大田消防署 三瓶出張所	大田市三瓶町志学 2075番地1	鉄骨造平屋建	284	1,325	R2.3.25 竣工
西部消防署	大田市温泉津町湯里 1590番地1	鉄骨造平屋建	667.86	3,701.70	R3.3.26 竣工

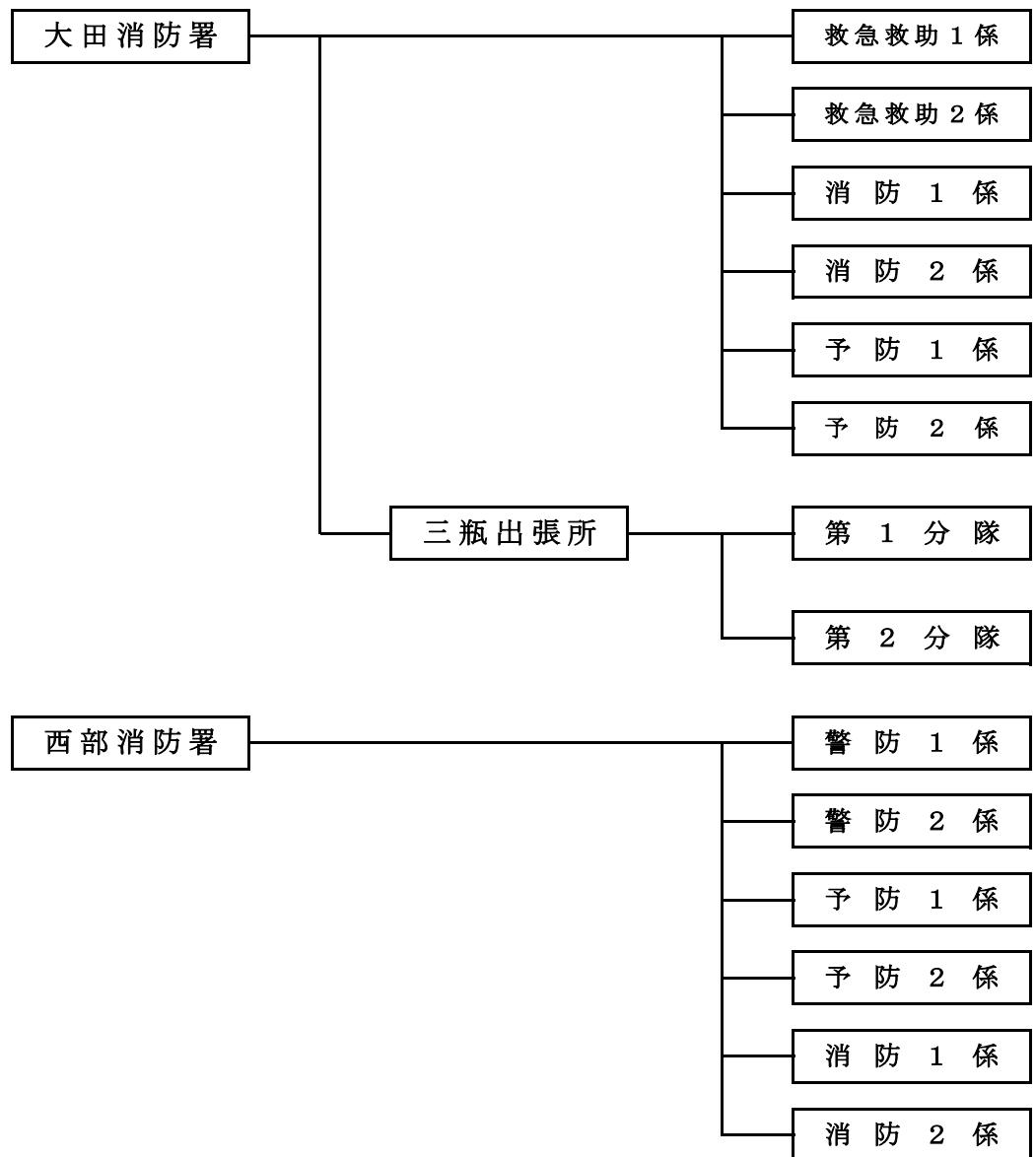
2. 總務編

1. 組織及び機構

消防本部の組織及び機構



消防署の組織及び機構



2. 事務分掌

区分 係	総務課
庶務係	<ol style="list-style-type: none">部内の組織機構に関すること。部内の議会及び政策企画会議に関すること。部内の条例、規則に関すること。公印の保管に関すること。部内の公文書の保存、廃棄に関すること。儀式及び表彰に関すること。消防統計及び消防沿革に関すること。要望及び投書の処理に関すること。消防長会及び消防協会に関すること。消防職員委員会に関すること。情報公開及び個人情報保護に関すること。寄付の採納に関すること。消防職員の給与及び手当に関すること。消防職員の安全衛生管理に関すること。消防職団員の任免、分限、懲戒及び服務に関すること。消防職団員の福利厚生及び健康管理に関すること。消防職団員の教養、入校及び研修に関すること。消防職団員の人事記録に関すること。消防職団員の公務災害補償及び賞じゅつ金に関すること。消防団員の報酬及び退職報償金に関すること。。
経理係	<ol style="list-style-type: none">消防施策の総合計画に関すること。予算及び決算に関すること。事務監査等に関すること。入札執行事務に関すること。契約に関すること。消防庁舎、施設の営繕に関すること。財産の取得及び処分に関すること。物品の購入、出納、保管及び処分に関すること。被服等貸与品に関すること。補助事業に関すること。

区分 係	予 防 課
予防係	<ol style="list-style-type: none"> 火災予防の企画立案及び防火指導に関すること。 火災予防広報及び広聴に関すること。 火災の原因及び損害調査に関すること。 防火対象物の査察及び措置命令に関すること。 建築物の確認等の同意及び指導に関すること。 火災、防火対象物の統計及び報告に関すること。 消防用設備等の届出、検査及び指導に関すること。 防火管理者の育成及び指導に関すること。 各種防火団体の指導及び育成に関すること。
危険物係	<ol style="list-style-type: none"> 危険物災害防止の企画立案及び指導に関すること。 危険物の規制、許認可、届出及び検査に関すること。 危険物の貯蔵取扱い及び保安指導に関すること。 危険物製造所等の改善及び指導に関すること。 危険物保安監督者及び危険物取扱者の育成指導に関すること。 危険物等による事故、災害等の調査及び報告に関すること。 危険物関係の統計及び報告に関すること。 火薬類の規制、許可、届出及び検査に関すること。 高圧ガスの規制、許可、届出及び検査に関すること。 液化石油ガスの規制、許可、届出及び検査に関すること。 危険物保安協会の事務に関すること。
区分 係	警 防 課
救急係	<ol style="list-style-type: none"> 救急業務の実施計画に関すること。 救急統計及び報告に関すること。 救急業務高度化の推進に関すること。 メディカルコントロール協議会に関すること。 救急車両の設計及び仕様に関すること。 応急手当の普及啓発に関すること。 救急広報に関すること。 医療機関との連絡調整に関すること。 ドクターヘリ、ドクターカーに関すること。 保健及び災害医療に関すること。

区分 係	警 防 課
警防係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 火災、地震及び風水害等の警戒及び防ぎよに関すること。 2. 消防基本計画に関すること。 3. 消防車両等の設計及び仕様に関すること。 4. 消防水利の設置、指定に関すること。 5. 消防訓練の計画及び指導に関すること。 6. 水防に関すること。 7. 消防相互応援協定に関すること。 8. 緊急消防援助隊に関すること。 9. 島根県防災ヘリコプターに関すること。 10. 防災関係機関との災害に係る連絡調整に関すること。 11. 救助統計及び報告に関すること。 12. 消防団車両、機械器具の維持及び管理に関すること。 13. 消防団の出動に関すること。
区分 係	通 信 指 令 課
通信指令 1・2係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害通報の受付及び出動指令に関すること。 2. 災害情報の収集及び連絡に関すること。 3. 消防通信の運用及び統制に関すること。 4. 消防通信施設等の整備計画及び管理に関すること。 5. 通報訓練及び技術の指導に関すること。 6. 救急医療情報の収集及び伝達に関すること。 7. 消防通信技術の調査研究に関すること。 8. 災害弱者緊急通報システムに関すること。 9. 消防通信の統計及び報告に関すること。 10. 通信業務に係る防火対象物等の支援情報及び資料作成に関すること。 11. 火災・災害等即報に関すること。

区分 係	大田消防署
救急救助係	<ol style="list-style-type: none"> 救急、救助活動及び報告に関すること。 応急手当の指導に関すること。 救急、救助資器材の管理、報告に関すること。 救急、救助訓練に関すること。
消防係	<ol style="list-style-type: none"> 警防活動及び報告に関すること。 消防車両、機械器具等の維持及び管理に関すること。 職員の勤務編成、福利厚生等に関すること。 消防車両等の燃料に関すること。 罹災証明、救急証明その他軽易な証明に関すること。 消防訓練（消防団含む）に関すること。 職場見学及び体験に関すること。 地理調査、消防水利点検整備及び報告に関すること。
予防係	<ol style="list-style-type: none"> 火災予防の活動、報告に関すること。 自主防災組織の訓練指導に関すること。 消防活動上支障となる施設及び設備の調査に関すること。 火災予防条例に関すること。 警防計画に関すること。 軽微な火災原因及び損害調査に関すること。 気象情報及び火災気象警報に関すること。
区分 係	三瓶出張所
	<ol style="list-style-type: none"> 大田消防署の各係に準ずる。

区分 係	西 部 消 防 署
警防係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害活動及び報告に関すること。 2. 応急手当の指導に関すること。 3. 救急資器材の管理、報告に関すること。 4. 地理調査、消防水利点検整備及び報告に関すること。 5. 警防計画に関すること。
予防係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 火災予防の活動、報告に関すること。 2. 自主防災組織の訓練指導に関すること。 3. 消防活動上支障となる施設及び設備の調査に関すること。 4. 火災予防条例に関すること。 5. 火災の原因及び損害調査に関すること。 6. 消防用設備等の設置指導に関すること。 7. 防火管理者の育成、指導に関すること。 8. 防火対象物の査察及び立入検査に関すること。 9. 建築物の確認等の同意及び指導に関すること。
消防係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公印の管守に関すること。 2. 職員の勤務編成、福利厚生等に関すること。 3. 消防車両等の燃料に関すること。 4. 罷災証明、救急証明その他軽易な証明に関すること。 5. 職場見学及び体験に関すること。 6. 消防車両、機械器具等の維持及び管理に関すること。 7. 各種訓練に関すること。 8. 救助資器材の管理、報告に関すること。 9. 消防訓練（消防団含む）に関すること。

3. 消防職員配置状況

区分	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
大田市消防本部	消防長	1						1
	消防次長							
	総務課	課長	1					1
		課長補佐	1					1
		庶務係長		1				1
		経理係長	(1)					(1)
		主任			1			1
		消防士					1	1
	予防課	課長	1					1
		課長補佐	1					1
		予防係長		1				1
		危険物係長	(1)					(1)
		主任			1			1
	警防課	課長	1					1
		課長補佐						
		救急係長		1				1
		警防係長		1				1
大田市消防署	通信指令課	課長	1					1
		課長補佐	2					2
		係長		2				2
		主任			2			2
		副主任				2		2
	署	長	1					1
		副署長	2					2
	第1小隊	小隊長		3				3
		分隊長			5			5
		副分隊長				4		4
		隊員					3	3
	第2小隊	小隊長		3				3
		分隊長			4			4
		副分隊長				4		4
		隊員					4	4
三瓶出張所	救助隊	隊長		(2)				(2)
		副隊長			(4)			(4)
		隊員				(5)	(3)	(8)
	所	長	1					1
		副所長		1				1
	第1分隊	分隊長			2			2
		副分隊長				1		1
		隊員						
	第2分隊	分隊長			2			2
		副分隊長				1		1
		隊員						
	署	長	1					1
		副署長	2					2
	第1小隊	小隊長		3				3
		分隊長			3			3
		副分隊長				1		1
		隊員					1	1
西部消防署	第2小隊	小隊長		3				3
		分隊長			3			3
		副分隊長				1		1
		隊員					1	1
	防災航空隊派遣職員				1			1
	市総務部危機管理課		1					1
	計	1	16(2)	19(2)	24(4)	14(5)	10(3)	84(16)

※ () は兼務職員、その他は主たる職務により集計

4. 階級別勤務年数調

階級 年数	計	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
1年未満	2						2
1～5年未満	5						5
5～10年未満	3						3
10～15年未満	18				4	14	
15～20年未満	24			4	20		
20～25年未満	8			8			
25～30年未満	4		1	3			
30年以上	20	1	15	4			
合計	84	1	16	19	24	14	10

5. 階級別年齢調

階級 年齢	計	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
18歳～19歳							
20歳～24歳	4						4
25歳～29歳	10					5	5
30歳～34歳	7				3	3	1
35歳～39歳	24			4	14	6	
40歳～44歳	17			10	7		
45歳～49歳	5		4	1			
50歳～54歳	9	1	5	3			
55歳～59歳	7		6	1			
60歳～65歳	1		1				
合計	84	1	16	19	24	14	10
平均年齢				39.6			

6. 常備消防予算及び主要事業

(単位：千円)

項 目	令和5年 度	
	当初予算額	主要事業
常備消防費	753,426	
節	報酬	—
	給料	313,738
	職員手当等	283,738
	共済費	112,834
	報償費	10
	旅費	1,380
	需用費	21,416
	役務費	6,315
	委託料	6,921
	使用料及び賃借料	3,364
	工事請負費	—
	備品購入費	116
	負担金補助及び交付金	3,157
	公課費	437

・消防施設設備等整備強化事業

3. 予防編

1. 防火対象物現況調

防火対象物の区分			現在数	査察実施件数	防火管理者選任数
1	イ	劇場、映画館等	3	2	3
	ロ	公会堂又は集会場	58	14	33
2	イ	キャバレー等			1
	ロ	遊技場又はダンスホール	4		3
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	個室で客に利用させるカラオケボックス等	1		1
3	イ	待合、料理店等	1		1
	ロ	飲食店	21	4	19
4		百貨店、マーケット等	70	2	28
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	25	21	12
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	124	6	2
6	イ	病院、診療所又は助産所	28	11	12
	ロ	主として自力避難困難者が入所する社会福祉施設	15	11	14
	ハ	上記ロ以外の社会福祉施設	56	51	24
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	2		1
7		小学校、中学校、高等学校、各種学校等	58	34	19
8		図書館、博物館、美術館等	10	4	5
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等	1		1
	ロ	上記イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1		
10		停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	3		
11		神社、寺院、教会等	45	2	2
12	イ	工場又は作業場	210	3	11
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	2		
13	イ	自動車車庫又は駐車場	15	2	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
14		倉庫	170	4	
15		前各項に該当しない事業場	320	53	24
16	イ	特定用途部分が存する複合用途対象物	133	30	34
	ロ	上記イ以外の複合用途対象物	83	1	1
16の2		地下街			
16の3		準地下街			
17		重要文化財等	28	6	2
18		延長50メートル以上のアーケード			
19		市町村長の指定する山林			
20		総務省令で定める舟車			
合 計			1,487	261	253

* 現在数のみ延べ面積150m²以上（17項、18項は除く）を計上

2. 数量別・類別製造所等設置数

製造所等の別		製造所	貯蔵所						取扱所			計
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所	
施許設 数可	令和4年度	2	12	45		38		15	12	28	33	
	令和5年度	2	12	43		37		15	12	26	33	
数量別	5倍以下		5	2		29		15			14	
	5倍をこえ 10倍以下		5	5		3			11	5	13	
	10倍をこえ 50倍以下	1	1	31		2			1	5	5	
	50倍をこえ 100倍以下			1		2				5		
	100倍をこえ 150倍以下		1	1		1				5		
	150倍をこえ 200倍以下									1		
	200倍をこえ 1,000倍以下	1		3						5	1	
類別	第1類											
	第2類											
	第3類											
	第4類	2	12	43		37		15	12	26	33	
	第5類											
	第6類											

3. 危険物製造所等の申請取扱件数

許可等区分	製造所等の区分	製造所	貯蔵所						取扱所			計
			屋外	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	給油	販売	
許可	設置			1					2			3
	変更	4			4		1		1	3	10	23
検査	設置			1					2			3
	変更	2	1		4		1		1	3	12	24
検査	水張											
	水圧											
計		6	1	2	8		2		6	6	22	53

4. 消防事務手数料徴収状況

危険物規制事務	種別			件数	金額(円)	
	製造所等	許可	設置	3	72,000	
			変更	22	426,500	
	完成検査	完成検査	設置	3	36,000	
			変更	14	200,250	
	タンク水圧検査					
	タンク水張検査					
	仮使用及び仮貯蔵・仮取扱			19	108,000	
	合計			61	842,750	

火薬類規制事務	種別			件数	金額(円)
	譲受許可				
	譲渡許可		2		2,400
	譲受消費許可		6		32,400
	消費許可(煙火)		5		39,500
	合計			13	74,300

高圧ガス規制事務	種別			件数	金額(円)	
	製造施設	許可	設置			
			変更	4	74,000	
	貯蔵所		設置			
			変更			
	完成検査		設置			
	完成検査		変更	4	66,100	
	保安検査			3	275,000	
	合計			11	415,100	

5. 各種届出処理状況

法令関係届出処理状況

種 別	件 数
防火管理者選任（解任）届出	68
消防計画作成（変更）届出	90
消防訓練通知書	347
工事整備対象設備等着工届出	28
消防用設備等設置届出	44
消防用設備等検査済証交付	16
消防用設備等点検結果報告	472
防火対象物点検結果報告	37
防火対象物点検報告特例認定申請	10
圧縮アセチレンガス等の貯蔵取扱の届出	10
危険物保安監督者選任（解任）届出	9

火災予防条例届出処理状況

種 別	件 数
防火対象物使用開始届出	19
火を使用する設備等の設置届出	43
変電・発電、蓄電設備等設置届出	20
ネオン管灯設備設置届出	
水素ガスを充てんする気球の設置届出	
火災とまぎらわしい行為の届出	70
煙火打上げ・仕掛け届出	52
催物開催届出	
水道断・減水届出	
道路工事届出	564
指定洞道等届出	
火災予防上必要な業務に関する計画提出	
露店等の開設届出	57
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱い届出	57
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱い廃止届出	13

広報活動等実施状況

区 分	実施回数	備 考
市広報誌掲載	10	火災予防運動・各種試験案内等
訓練指導	147	旅館・保育園・学校等
音声広報	224	火災予防運動・気象状況に伴う広報等
巡回広報	177	火災予防運動・歳末警戒等
防火チラシ	6	火災予防運動・住警器啓発等
防火ポスター	8	火災予防運動・住警器啓発等
防火看板	13	火災予防・住警器啓発等
消防施設見学	14	小学校・幼稚園等

4. 警 防 編

1. 火災

概 要

(令和元年～令和5年中)

区分	年・署所	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年			
						計	大田消防署	西部消防署	三瓶出張所
火 災 件 数	建 物	9	10	7	6	4	2	1	1
	林 野	4	7	4	3	4	4		
	車 両			2	2	1	1		
	船 舶								
	そ の 他	9	8	9	9	9	6	3	
	計	22	25	22	20	18	13	4	1
焼 損 面 積	建 物	床面積(m ²)	1,721	1,457	549	17,565	792	646	146
		表面積(m ²)	126	1	3		53	25	27
		棟 数	27	17	11	8	10	6	3
	林野 (a)	26	461	10	69	99	99		
罹 災 世 帯		11	11	7	2	3	2	1	
罹 災 人 員		22	16	16	3	6	5	1	
死 者		3	1	1					
負 傷 者		1	3	1	1				
損 害 額 (千 円)	建 物	124,005	94,587	11,009	412,451	11,953	7,332	4,487	134
	林 野	53				3	3		
	車 両	220	1,174	1,272	132	130	130		
	船 舶								
	そ の 他	811	322	200	31	1		1	
	計	125,089	96,083	12,481	412,614	12,087	7,465	4,488	134

出火原因別火災件数・損害額

(令和5年中)

原因別	区分	出火件数	損害額 (千円)
たき火		12	6
火入れ		1	
たばこ			
コシロ			
ストーブ			
電気機器		2	140
配線器具			
マッチ・ライター			
放火・放火疑い			
その他		2	4,617
不明		1	7,324
合	計	18	12,087

町別火災件数及び損害額

(令和5年中)

区分 町別	火 灾 件 数						焼損面積		損 害 額					
	計	建 物	林 野	車 両	船 舶	その 他	建 物 (m ²)	林 野 (a)	計 (千円)	建 物	林 野	車 両	船 舶	その 他
大田町	1					1			2	2				
川合町														
大屋町	1					1								
久利町	1					1								
富山町	1		1					91	3		3			
朝山町														
波根町														
久手町	2		1			1		1						
鳥井町														
長久町	1		1					1						
静間町	1	1					646	2	7,324	7,324				
五十猛町	1					1								
大森町	2	1		1					136	6		130		
水上町	1		1					4						
祖式町														
大代町														
三 瓶 町	池田	1	1						134	134				
	志学													
	多根	1				1								
山口町														
温 泉 津 町	湯里	1				1								
	温泉津													
	井田	2	1			1	146		4,488	4,487				1
	福波													
仁 摩 町	仁万	1				1								
	宅野													
	大国													
	馬路													
合 計	18	4	4	1		9	792	99	12,087	11,953	3	130		1

※建物の焼損面積は床面積を計上している

月別町別火災発生状況

(令和5年中)

月 町別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
大田町			1										1
川合町													
大屋町			1										1
久利町	1												1
富山町			1										1
朝山町													
波根町													
久手町		1		1									2
鳥井町													
長久町				1									1
静間町												1	1
五十猛町										1			1
大森町							1					1	2
水上町				1									1
祖式町													
大代町													
三 瓶 町	池田											1	1
	志学												
	多根			1									1
山口町													
温 泉 津 町	湯里		1										1
	温泉津												
	井田		1							1			2
	福波												
仁 摩 町	仁万									1			1
	宅野												
	大国												
	馬路												
合計	1	3	4	3			1		1	2		3	18

2. 救急

概 要

(令和5年中)

区分 年・月	出場件数	搬送人員	事故種別										出場件数 1日平均	搬送人員 1日平均		
			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
令和元年	1,916	1,868			4	90	22	17	257	1	13	1,119	393	5.25	5.12	
令和2年	1,682	1,628	3		6	67	10	3	265	3	15	949	361	4.61	4.46	
令和3年	1,743	1,703	1	1	3	73	15	8	276		14	1,003	349	4.78	4.67	
令和4年	1,948	1,889			1	78	20	6	304	5	10	1,175	349	5.34	5.18	
令和5年	2,098	2,045			1	69	20	7	313	1	13	1,272	402			
1月	191	186				6			21				130	34		
2月	148	137			1	4	1		29		2	83	28			
3月	160	160				5	1	1	17	1			100	35		
4月	151	146				5	1		24		1	82	38			
5月	161	158				9			23		1	94	34			
6月	142	139				2	3	1	32		1	75	28	5.75	5.60	
7月	185	180				3	2	3	22		1	124	30			
8月	243	241				9	2		34		2	157	39			
9月	157	151				12	1	1	26		3	88	26			
10月	196	193				6	5		29		2	103	51			
11月	172	169				6	2	1	31				98	34		
12月	192	185				2	2		25				138	25		

(その他…転院、医師・資器材搬送及び分類不能のもの)

署所別救急出場件数及び搬送人員

(令和5年中)

事故種別 署所名	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
大田消防署	件 数	1,642			57	13	5	216	1	7	954	389
	人 員	1,611			63	13	5	212	1	2	926	389
西部消防署	件 数	366		1	9	5	1	83		4	252	11
	人 員	356			8	5	1	84		3	245	10
三瓶出張所	件 数	90			3	2	1	14		2	66	2
	人 員	78			3	2	1	12			59	1
合 計	件 数	2,098		1	69	20	7	313	1	13	1,272	402
	人 員	2,045			74	20	7	308	1	5	1,230	400
比 率 %	出 場 件 数	100.0%		0.05%	3.29%	0.95%	0.33%	14.92%	0.05%	0.62%	60.63%	19.16%

(その他…転院、医師・資器材搬送及び分類不能のもの)

月別出場件数及び搬送人員

(令和5年中)

事故種別 月別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
1月	件 数	191				6			21			130	34
	人 員	186				7			20			126	33
2月	件 数	148			1	4	1		29		2	83	28
	人 員	137				4	1		27		1	77	27
3月	件 数	160				5	1	1	17	1		100	35
	人 員	160				6	1	1	18	1		98	35
4月	件 数	151				5	1		24		1	82	38
	人 員	146				6	1		23		1	78	37
5月	件 数	161				9			23		1	94	34
	人 員	158				9			23		1	91	34
6月	件 数	142				2	3	1	32		1	75	28
	人 員	139				2	3	1	32			73	28
7月	件 数	185				3	2	3	22		1	124	30
	人 員	180				2	2	3	23			120	30
8月	件 数	243				9	2		34		2	157	39
	人 員	241				11	2		34		1	153	40
9月	件 数	157				12	1	1	26		3	88	26
	人 員	151				13	1	1	25			85	26
10月	件 数	196				6	5		29		2	103	51
	人 員	193				6	5		28		1	101	52
11月	件 数	172				6	2	1	31			98	34
	人 員	169				6	2	1	31			96	33
12月	件 数	192				2	2		25			138	25
	人 員	185				2	2		24			132	25
計	件 数	2,098			1	69	20	7	313	1	13	1,272	402
	人 員	2,045				74	20	7	308	1	5	1,230	400

(その他…転院、医師・資器材搬送及び分類不能のもの)

町別救急出場件数

(令和5年中)

事故種別 町別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
大田町	668				14	4	5	60		2	283	300
川合町	106				4	1		10	1		83	7
大屋町	14							4			10	
久利町	58				3			11			43	1
富山町	27							4		1	22	
朝山町	28					2		6			19	1
波根町	126					1		11			57	57
久手町	166				9			28		2	116	11
鳥井町	87				3			22			62	
長久町	184				12	4		27			129	12
静間町	51				3	1		6			41	
五十猛町	62				8			8			46	
大森町	16							4			12	
水上町	19							4			15	
祖式町	29				2			7			19	1
大代町	14							6			8	
三瓶町	池田	38				4	1		5		27	1
	志学	34					1		7	1	25	
	多根	7						4		2	1	
山口町	13						1	2			10	
温泉津町	湯里	37							11			26
	温泉津	60				1			11		1	47
	井田	23							12	1	9	1
	福波	28			1	1	3		4			19
仁摩町	仁万	122				2	1	1	20		2	86
	宅野	34					1		6			27
	大国	21				2			6			13
	馬路	25				1			7			17
管轄外	1										1	
合 計	2,098			1	69	20	7	313	1	13	1,272	402

(その他…転院、医師・資器材搬送及び分類不能のもの)

年齢・傷病程度別搬送人員

(令和5年中)

年齢区分	事故種別 傷病程度	合	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
		計											
新生児	死 亡												
	重 症	1											1
	中 等 症												
	軽 症	1							1				
	そ の 他												
乳幼児	死 亡												
	重 症	4									3	1	
	中 等 症	16									11	5	
	軽 症	24						7			17		
	そ の 他												
少 年	死 亡												
	重 症	2							1				1
	中 等 症	22				4		1	3			11	3
	軽 症	23				5		3	4			10	1
	そ の 他												
成 人	死 亡	5										5	
	重 症	46					3			2	22	19	
	中 等 症	163				13	7		17		1	72	53
	軽 症	142				15	4	3	13		2	102	3
	そ の 他												
高 齢 者	死 亡	26							3			23	
	重 症	189				3			15	1		108	62
	中 等 症	1,018				13	3		168			603	231
	軽 症	363				21	3		76			243	20
	そ の 他												
計	死 亡	31							3			28	
	重 症	242					3	3		16	1	133	84
	中 等 症	1,219				30	10	1	188		1	697	292
	軽 症	553				41	7	6	101		2	372	24
	そ の 他												
合 計		2,045				74	20	7	308	1	5	1,230	400

(区 分：その他・・・転院、医師・資器材搬送及び分類不能のもの)

(程度別：その他・・・医師の診断がないもの及び医療機関以外の場所へ搬送したもの)

ドクターへリ地区別搬送人員

(令和5年中)

事故種別 町 別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
大田町	21				1	1					9	10
川合町	4				1						3	
大屋町												
久利町	1								1			
富山町	3								1		2	
朝山町												
波根町	5										4	1
久手町	6								2		4	
鳥井町	4										4	
長久町	4				1	1					2	
静間町												
五十猛町	4				1						3	
大森町												
水上町	1										1	
祖式町	1										1	
大代町	1										1	
三 瓶 町	池田	3				1	1				1	
	志学	1									1	
	多根											
山口町	2										2	
温 泉 津 町	湯里											
	温泉津	3									3	
	井田	3							3			
	福波	4							1		3	
仁 摩 町	仁万	4									4	
	宅野	2				1					1	
	大国	2									2	
	馬路											
管轄外												
合 計	79				5	4		8			51	11
要請件数	138				7	6		18			94	13

(その他…転院、医師・資器材搬送及び分類不能のもの)

3. 救助

概 要

(令和5年中)

区分	活動状況					出動車両							
	出動件数	出動人員	活動件数	活動人員	救助人員	救助工作車	消防ポンプ車	化学生車	指揮車・指令車	救急自動車	その他の車両	消防団車両	合計
火災													
交通事故	12	109	2	13	2	12	2			7			21
水難事故													0
風自然灾害													0
機械による事故	2	14	1	8	0	2				2			4
建物による事故													0
ガス及び酸欠事故													0
破裂事故													0
その他の事故	8	70	6	41	6	5			2	8	3		18
合計	22	193	9	62	8	19	2		2	17	3		43

防災ヘリコプター要請件数

(平成6年4月～令和5年12月31日)

事故種別	火災	救助	捜索	現場救急搬送	転院搬送	その他	合計
平成6年～30年	5	20	5	4	12		46
令和元年	1	4					5
令和2年		2				1	3
令和3年		2	1				3
令和4年		6					6
令和5年	2	2					4
合計	8	36	6	4	12	1	67

※島根県防災航空隊発隊:平成6年4月1日

4. 消防

消防車両現有数

区分	車名	車種	型式	排気量	ポンプ級別	初年度登録
大田消防署	大田救急1 (トヨタ)	高規格救急車	3BF-TRH226S	2,690cc		R3. 4
	大田救急2 (日産)	高規格救急車	CBF-FPWGE50改	3,490cc		H27. 11
	大田救急3 (トヨタ)	高規格救急車	CBF-TRH226S	2,690cc		H30. 9
	大田化学1 (イズミ)	化学消防車	KK-FSR33G4V	8,220cc	A-2	H12. 11
	大田タンク1 (日野)	水槽付ポンプ車	2KG-GX2ABA	5,120cc	A-2	R2. 2
	大田ポンプ1 (日野)	消防ポンプ車	BDG-XZU378M	4,000cc	A-2	H21. 10
	大田ポンプ2 (日野)	消防ポンプ車	BDG-XZU378M	4,000cc	A-2	H19. 10
	大田林野1 (トヨタ)	林野火災工作車	LDF-KDY281	2,980cc		H30. 10
	大田救助1 (イズミ)	救助工作車	KK-FSR34G4	7,790cc		H15. 1
	大田指揮1 (タツイハツ)	消防指揮車	3BD-S710V	650cc		R5. 1
	大田支援1 (トヨタ)	指揮支援車	CBF-TRH226S	2,690cc		H24. 10
	大田広報1 (日産)	広報車	CBE-VAY12	1,240cc		H25. 3
	大田広報2 (トヨタ)	広報車	GE-RZH112V	1,990cc		H12. 10
	大田軽2 (三菱)	—	GBD-U62V	650cc		H22. 2
	大田軽3 (マツダ)	—	EBD-DG64V	650cc		H24. 2
西部消防署	西部救急1 (トヨタ)	高規格救急車	CBF-TRH226S	2,690cc		H23. 9
	西部救急2 (日産)	高規格救急車	CBF-FPWGE50改	3,490cc		H24. 12
	西部ポンプ1 (日野)	消防ポンプ車	PD-XZU378M	4,000cc	A-2	H17. 1
	西部指揮1 (日産)	消防指揮車	EBD-DR64V	650cc		H26. 8
三瓶出張所	三瓶救急1 (トヨタ)	高規格救急車	CBF-TRH226S	2,690cc		H25. 10
	三瓶ポンプ1 (日野)	消防ポンプ車	SKG-XZU685M	4,000cc	A-2	H23. 11

無線通信施設

【基 地 局】

		空中線電力	計
デジタル	高山中継局	20W	4局
	三瓶中継局	20W	
	邑南中継局	20W	
	江津中継局	10W/20W	

【陸上移動局】

		大田消防署	大田消防署 三瓶出張所	西部消防署	小 計	合 計
デジタル	半固定型 (5W)		1	1	2局	46局
	車載型 (5W)	11	2	4	17局	
	車載型 (10W)	1			1局	
	携帯型 (5W)	16	3	4	23局	
	可搬型 (10W)	1			1局	
アナログ	携帯型 (5W)	1			1局	
	可搬型 (10W)	1			1局	

消防水利地区別状況

区分 町別	消火栓 (公設)	防火水槽 (公設)				指定 水利	その他
		100t以上	60t以上 100t未満	40t以上 60t未満	20t以上 40t未満		
大田町	79	1	1	24	8	1	2
長久町	28		1	9	7		1
静間町	12			7	8		1
鳥井町	15	1		5	1		1
久手町	52		5	17	10		2
波根町	12			7	4		1
川合町	18			11	3		1
久利町	11			8			1
朝山町	2			3	5		
富山町				2	3		1
山口町				4	2		
三瓶町	多根			7	2		1
	池田	7	1	6	4		1
	志学	5		7	2		1
五十猛町	12			6	5		
大屋町				1	1		
大森町	39			2	1		
水上町	1			2	2		2
祖式町				2	2		1
大代町	2	3	1	2	2		1
温泉津町	温泉津	29		12	3		1
	湯里	12		5	1		1
	井田	16		4			1
	福波	28	2	7			3
仁摩町	仁万	85		14			6
	宅野	22		10	3		2
	大国	15		4			
	馬路	34		14			6
合 計		536	5	11	202	79	1 38

公設消火栓536基の内150mm未満285基
指定水利は三瓶川 その他の水利内訳は河川・港・プール

5. 消防団編

1. 大田市消防団の沿革

西暦	元号	月	日	主な出来事
				旧大田市消防団の沿革
1954	昭和29	1	1	安濃郡大田町、久手町、長久村、鳥井村、波根東村、川合村及び邇摩郡久利村、静間村の2町6カ村による第1次合併する。
		4	1	安濃郡佐比壳村、朝山村、富山村、簸川郡山口村の4カ村による第2次合併する。
		4	3	大田市大田町、久手町、長久村、鳥井村、波根東村、川合村、佐比壳村、朝山村、富山村、邇摩郡久利村、静間村、簸川郡山口村12カ町村により大田市消防団が発足する。 編成 12分団 団員数 1,457人 装備 自動車ポンプ 5台 可搬式動力ポンプ 22台 手引動力ポンプ 7台 腕用ポンプ 51台
1955	昭和30	2	11	日本消防協会から表彰旗を受賞した。
		5	3	第1回島根県消防操法競技大会にて手引消防ポンプ操法の部3位入賞した。
		7	8	島根県消防協会から表彰旗の副賞として鳶を授与された。
		10	1	消防装備の拡充強化に伴う、第2次機構改革する。 編成 12分団 団員数 727人 装備 自動車ポンプ 5台 可搬式動力ポンプ 39台 手引動力ポンプ 7台 腕用ポンプ 3台
1956	昭和31	4	8	第2回島根県消防操法大会にて自動車ポンプの部優勝する。
		4	28	第2回中国5県消防ポンプ操法大会にて自動車ポンプの部優勝する。
		9	30	邇摩郡五十猛村、大屋村、大森町、邑智郡祖式村の1町3村を編成し第3次合併する。 編成 16分団 団員数 952人
1957	昭和32	8	20	島根県消防協会から第1線竿頭綬を授与された。
1958	昭和33	12	30	邑智郡川本町大代地区を編入合併する。 編成 17分団 団員数 1,032人
1959	昭和34	4	8	第5回島根県消防操法大会にて手引動力ポンプの部優勝、自動車ポンプの部3位入賞した。
1962	昭和37	1	5	島根県消防協会から第3線竿頭綬を授与された。
		7		第8回島根県消防操法大会（川本町）に大代分団が出場する。
1963	昭和38	5	7	第9回島根県消防操法大会にて可搬動力ポンプの部3位入賞した。

西暦	元号	月	日	主な出来事
1964	昭和39	10	1	常備消防の拡充強化に伴う第3次機構改革する。 編成 17分団 団員数 643人 装備 輸送車 6台 可搬式動力ポンプ 67台 手引動力ポンプ 4台
		11	27	分団管轄区域を見直し、水上、多根、志学分団を編成し20分団とする。
1965	昭和40	12	28	小型動力ポンプ輸送車2台購入、波根・久手分団に配置する。
1966	昭和41	1	6	島根県消防協会から第4線竿頭綬を授与された。
		6	13	小型動力ポンプ輸送車1台購入、富山分団に配置する。
1967	昭和42	3	3	消防庁長官から消防機関に竿頭綬を授与された。
		7	13	小型動力ポンプ輸送車1台購入、久手分団に配置する。
1968	昭和43	7		第14回島根県消防操法大会（江津市）に山口分団が出場する。
1969	昭和44	1	6	島根県消防協会より第5線竿頭綬を授与された。
		12	1	小型動力ポンプ輸送車2台購入、山口・祖式分団に配置する。
1970	昭和45	11	6	小型動力ポンプ輸送車2台購入、久利・大屋分団に配置する。
1971	昭和46	10	29	小型動力ポンプ輸送車4台購入、多根・朝山・大森・水上分団に配置する。
		12	4	昭和46年6・7月の豪雨災害の功績により島根県知事から表彰状を授与された。
1972	昭和47	9	5	小型動力ポンプ積載車5台購入、池田・久手・鳥井・長久・静間分団に配置する。
		9	8	昭和46年6・7月の豪雨災害の功績により内閣総理大臣から表彰状を授与された。
1973	昭和48	1	6	島根県消防協会より第6線竿頭綬を授与された。
		4	20	小型動力ポンプ輸送車1台購入、大田分団に配置する。
		7	18	小型動力ポンプ輸送車1台購入、五十猛分団に配置する。
1974	昭和49	7		第20回島根県消防操法大会（斐川町）に山口分団が出場する。
		8	9	小型動力ポンプ輸送車2台購入、川合・大代分団に配置する。
1975	昭和50	7	17	小型動力ポンプ輸送車2台購入、志学分団に配置、久手分団更新する。
		7		第21回島根県消防操法大会（金城町）に山口分団が出場する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
1975	昭和50	7	22	小型動力ポンプ輸送車2台購入、久利・大屋分団に配置する。
1976	昭和51	2	1	昭和50年7月の豪雨災害の功績により建設大臣から表彰状を授与された。
		7		第22回島根県消防操法大会（広瀬町）に多根分団が出場する。
1977	昭和52	7		第23回島根県消防操法大会（津和野町）に多根分団が出場する。
1978	昭和53	7		第24回島根県消防操法大会（横田町）に長久分団が出場する。
		9	5	小型動力ポンプ輸送車1台更新、久手分団に配置する。
1979	昭和54	7		第25回島根県消防操法大会（邑智町）に多根分団が出場し6位となる。
1980	昭和55	4	1	大田市消防団ラッパ隊発足する。隊長以下12名。
		7		第26回島根県消防操法大会（玉湯町）に朝山分団が出場し8位となる。
		9	5	小型動力ポンプ輸送車1台購入、大代分団に配置する。
1981	昭和56	3	4	消防庁長官から消防機関に消防旗を授与された。
		6	18	小型動力ポンプ輸送車1台更新、富山分団に配置する。
		7		第27回島根県消防操法大会（浜田市）に長久分団が出場する。
1982	昭和57	1	5	島根県消防協会より第7線竿頭綬を授与された。
		2	10	日本消防協会より竿頭綬を授与された。
		7	30	小型動力ポンプ輸送車2台更新、山口・祖式分団に配置する。
		7		島根県消防大会（佐田町）に大代分団が出場する。
		11	1	消防団活動の拠点施設として消防センターを竣工する。
1983	昭和58	7	16	小型動力ポンプ輸送車2台更新、川合・大代分団に配置する。
1984	昭和59	6	8	小型動力ポンプ輸送車1台更新、志学分団に配置する。
		7		第28回島根県消防操法大会（安来市）に大代分団が出場する。
1985	昭和60	7		第29回島根県消防操法大会（江津市）に長久分団が出場する。
		8	21	小型動力ポンプ輸送車2台更新、大森・池田分団に配置する。
		9	2	小型動力ポンプ4台更新、朝山・大屋・祖式・大代分団に配置する。
1986	昭和61	7	8	小型動力ポンプ輸送車2台更新、長久・水上分団に配置する。

西暦	元号	月	日	主な出来事
1986	昭和61	7	27	第30回島根県消防操法訓練大会（出雲市）において長久分団が出場し小型ポンプの部5位入賞する。
1987	昭和62	1	24	小型動力ポンプ1台更新、波根分団に配置する。
		4	1	緊急伝達システムを導入し、防災無線の整備を図る。
		6	29	小型動力ポンプ輸送車3台更新、大田・池田・静間分団に配置する。
		7	15	小型動力ポンプ輸送車1台更新、鳥井分団に配置する。
		7	26	第31回島根県消防操法訓練大会（桜江町）において久手分団が出場し、優勝する。
1988	昭和63	7		第32回島根県消防操法訓練大会（美保関町）において久手分団が出場し、小型ポンプの部8位となる。
		9	17	小型動力ポンプ1台更新、大代分団に配置する。
1989	平成元	8	27	第33回島根県消防操法訓練大会（日原町）において小型ポンプの部大代分団2位入賞する。
		10	20	小型動力ポンプ輸送車2台更新、久利・大屋分団に配置する。
1990	平成2	6	27	小型動力ポンプ輸送車2台更新、山口・久手分団に配置する。
		7		第34回島根県消防操法大会（東出雲町）に久利分団が出場し20位となる。
1991	平成3	3	30	小型動力ポンプ輸送車2台更新、富山・大代分団に配置する。
		8	25	第35回島根県消防操法大会（大田市）に久手分団が出場し、小型ポンプの部2位入賞する。
1992	平成4	1	5	島根県消防協会から第8線竿頭綬を授与された。
		7		第36回島根県消防操法大会（宍道町）に久利分団が出場し、小型ポンプの部23位となる。
		8	8	島根県知事から消防機関に表彰旗を授与された。
		8	19	小型動力ポンプ輸送車1台更新、久手分団に配置する。
1993	平成5	6	29	小型動力ポンプ輸送車1台更新、波根分団に配置する。
		7		第37回島根県消防操法大会（三隅町）に久手分団が出場し、小型ポンプの部7位となる。
		7	20	小型動力ポンプ1台更新、朝山分団に配置する。
1994	平成6	7	20	小型動力ポンプ1台更新、富山分団に配置する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
1994	平成6	7	22	第38回島根県消防操法大会（仁多町）に久利分団が出場し、小型ポンプの部5位入賞する。
			22	日本消防協会より普通自動車（1800cc）の寄贈を受けた。
1995	平成7	7	14	小型動力ポンプ輸送車1台更新、多根分団に配置する。
			7	第39回島根県消防操法大会（仁摩町）に久利分団が出場し、小型ポンプの部13位となる。
1996	平成8	7	12	第40回島根県消防操法大会（西郷町）に波根分団が出場し、小型ポンプの部26位となる。
			12	小型動力ポンプ2台更新、静間・五十猛分団に配置する。
1997	平成9	2	14	日本消防協会から竿頭綬を授与された。
			7	第41回島根県消防操法大会（六日市町）に波根分団が出場し、小型ポンプの部20位となる。
			12	小型動力ポンプ輸送車1台購入、大田分団に配置する。 小型動力ポンプ輸送車2台更新、富山・志学分団に配置する。 小型動力ポンプ3台更新、鳥井・多根・祖式分団に配置する。
1998	平成10	7		第42回島根県消防操法大会（三刀屋町）に久手分団が出場し、小型ポンプの部16位となる。
1999	平成11	1	7	小型動力ポンプ輸送車1台購入、志学分団に配置する。 小型動力ポンプ輸送車2台更新、山口・朝山分団に配置する。 小型動力ポンプ3台更新、大田・池田・山口分団に配置する。
			7	第43回島根県消防操法大会（川本町）に波根分団が出場し、小型ポンプの部12位となる。
			11	小型動力ポンプ1台更新、鳥井分団に配置する。
2000	平成12	1	13	小型動力ポンプ3台更新、富山・志学・大代分団に配置する。
			6	小型動力ポンプ輸送車2台更新、祖式・大代分団に配置する。
			4	大田市消防団機構改革検討委員会を設置する。
2001	平成13	8	7	第44回島根県消防操法大会（平田市）に波根分団が出場し、小型ポンプの部12位となる。
			10	小型動力ポンプ輸送車3台更新、大田・川合・五十猛分団に配置する。 小型動力ポンプ4台更新、川合・長久・久利・五十猛分団に配置する。
			4	第45回島根県消防操法大会において（柿木村）小型ポンプの部、大代分団4位入賞する。

西暦	元号	月	日	主な出来事
2001	平成13	8	10	小型動力ポンプ輸送車3台更新。長久・大森・水上分団に配置する。 小型動力ポンプ3台更新。大田・久手・静間分団に配置する。
2002	平成14	8	4	第46回島根県消防操法大会（簸川町）に祖式分団が出場し、小型ポンプの部19位となる。
		9	24	小型動力ポンプ3台更新。大屋・川合・静間分団に配置する。 小型動力ポンプ輸送車2台更新。大代・池田分団に配置する。 小型動力ポンプ輸送車4台増車。多根・波根・川合・静間分団に配置する。
2003	平成15	8	4	第47回島根県消防操法大会（旭町）に祖式分団が出場し、小型ポンプの部19位となる。
		10	1	大田市消防団平成第1次機構改革により、消防団員数を643人から557人とする。又、班数を69班から60班とする。
		10	10	静間分団に消防格納庫新築する。
		10	30	大屋分団に消防格納庫新築する。
		11	4	大田市消防団平成第1次機構改革に伴う小型動力ポンプ輸送車5台増車（普1、軽4）及び軽1台更新。大田（普）・鳥井・池田・五十猛・水上分団に増車配置及び久手分団に更新配置する。 小型動力ポンプ3台更新。多根・静間・大代分団に配置する。
2004	平成16	8	29	第48回島根県消防操法大会（八雲村）に長久分団が出場し16位となる。
		11	4	小型動力ポンプ3台更新。久手・池田・富山分団に配置する。 大田市消防団平成第2次機構改革に伴う小型動力ポンプ輸送車5台増車。普通車を大屋・静間分団に、軽自動車を川合・五十猛・祖式分団に各配置する。
		11	10	五十猛分団、静間分団及び長久分団に消防格納庫新築する。
2005	平成17	8	7	第49回島根県消防操法大会（邑南町）に大代分団が出場し4位となる。
		10	1	大田市・温泉津町・仁摩町1市2町の合併により新大田市となり、消防団員数を844名とする新大田市消防団が発足する。
				旧温泉津町消防団の沿革
1954	昭和29	4	1	井田村、福波村、温泉津町、湯里村の4町村が合併し、消防団員数336名とする温泉津町消防団が発足する。
1958	昭和33	4	1	腕用ポンプ、手引動力ポンプ、小型動力ポンプへの切り替え等により消防団員数263名となる。
1962	昭和37	4	1	消防団員数227名となる。
1982	昭和57	4	1	消防団員数184名となり、消防自動車3台、小型動力ポンプ積載車14台、小型動力ポンプ14台を配備する。

西暦	元号	月	日	主な出来事
2005	平成17	10	1	1 市2町合併により新大田市消防団として現在に至る。 旧仁摩町消防団の沿革
1954	昭和29	4	1	仁万村、宅野村、大国、馬路村消防団の4消防団が合併し、仁摩町消防団が発足する。
2005	平成17	10	1	1 市2町合併により新大田市消防団として現在に至る。 大田市消防団の沿革（合併後）
2005	平成17	10	1	大田市・温泉津町・仁摩町1市2町の合併により新大田市となり、消防団員数を844名とする新大田市消防団が発足する。
		11	1	志学分団、久手分団、水上分団に消防格納庫新築する。
		11	25	輸送車2台更新。軽自動車を鳥井・久利分団に、小型動力ポンプを長久分団に更新配置する。 大田市消防団平成第2次機構改革に伴う輸送車4台増車。 普通車を朝山分団に、軽自動車を久手・大代・長久分団に各配置する。
2006	平成18	3	1	大田消防署より山口分団へ4WD車を配置し、山口分団の輸送車を五十猛分団へ配置する。
		8	6	第50回島根県消防操法大会（加茂町）に大田地区代表久手分団、温泉津地区代表湯里分団が出場し、久手分団が5位となる。
		11	2	久手分団に消防格納庫新築する。
		11	8	長久分団に消防格納庫新築する。
		12	18	輸送車4台購入（内軽3台更新、内軽1台増車）更新軽3台を大屋・静間・山口分団へ配置する。増車分（軽1台）を富山分団へ配置する。
2007	平成19	3	15	長久分団に消防格納庫新築する。
		3	16	普通輸送車1台購入（増車）長久分団へ配置する。
		8	5	第51回島根県消防操法大会（益田市）に大田地区代表井田・長久分団が出場し、長久分団8位、井田分団10位となる。
		8	31	普通輸送車1台購入（増車）五十猛分団へ配置する。
		10	24	久利分団に消防格納庫を新築する。
		11	6	田口分団に消防格納庫を新築する。
		12	20	軽輸送車4台購入（更新）久手・大代・富山分団（増車）・久利分団へ配置する。小型動力ポンプ2台購入（更新）久手・五十猛分団へ配置する。

西暦	元号	月	日	主な出来事
2008	平成20	8	3	第52回島根県消防操法大会（出雲市）に大田地区代表久手・温泉津分団が出場し、久手分団6位、温泉津分団16位となる。
		8	21	普通輸送車1台購入（更新）湯里分団へ、軽輸送車1台購入（更新）大国分団へ配置する。 小型動力ポンプ4台購入（更新）大田・長久・水上・大代分団へ配置する。
2009	平成21	8	9	第53回島根県消防操法大会（大田市）に大田地区代表久手・大代分団が出場し、久手分団4位、大代分団13位となる。
		11	26	軽輸送車1台購入（更新）井田分団へ配置する。 小型動力ポンプ3台購入（更新）川合・志学・久利分団へ配置する。
2010	平成22	2	10	日本消防協会より表彰旗を授与された。
		2	16	総務省消防庁より消防団救助資機材1セットを無償貸与される。
		3	31	大国分団に消防格納庫を新築する。
		4	7	総務省消防庁より消防団救助資機材搭載型車両（小型動力ポンプ積載）を無償貸与される。
		8	1	第54回島根県消防操法大会（安来市）に大田地区代表宅野・湯里分団が出場し、宅野分団18位、湯里分団20位となる。
		11	4	軽輸送車2台購入（更新）宅野・福波分団へ配置する。 小型動力ポンプ1台購入（更新）波根分団へ配置する。
		8	7	第55回島根県消防操法大会（浜田市）に大田地区代表波根・大国分団が出場し、波根分団13位、大国分団20位となる。
2011	平成23	10	13	軽輸送車2台購入（更新）井田・宅野分団へ配置する。 小型動力ポンプ3台購入（更新）五十猛分団・朝山分団・大屋分団へ配置する。
		2	29	普通輸送車1台購入（更新）井田分団へ配置する。
		3	30	仁万分団に消防格納庫を新築する。
2012	平成24	8	5	第56回島根県消防操法大会（奥出雲町）に大田地区代表馬路・井田分団が出場し、馬路分団17位、井田分団18位となる。
		11	20	軽輸送車6台購入（更新）久手・山口・福波（2台）・馬路・湯里分団へ配置する。小型動力ポンプ3台購入（更新）祖式・波根・湯里分団へ配置する。
		12	11	島根県消防協会第2回臨時理事会において島根県消防操法大会出場枠の見直しがなされ大田地区の出場枠が2から1となる。
		2	20	池田分団に消防格納庫を新築する。
2013	平成25	8	4	第57回島根県消防操法大会（江津市）に長久分団が出場し、10位となる。

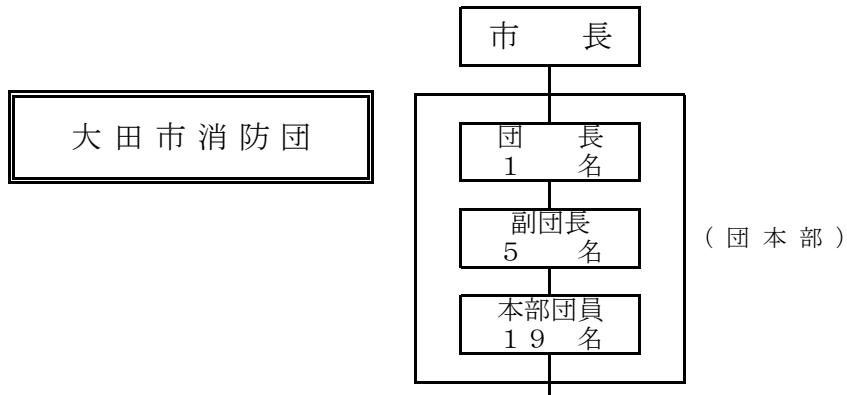
西暦	元号	月	日	主な出来事
2013	平成25	10	22	普通輸送車2台購入（更新）波根・温泉津分団へ配置する。 軽輸送車5台購入（更新）大田（2台）・井田・湯里・仁万分団へ配置する。 小型動力ポンプ2台購入（更新）水上・温泉津分団へ配置する。
2014	平成26	8	3	第58回島根県消防操法大会（松江市）に、平成25年5月に開催した第55回大田市消防操法大会において2位の山口分団が出場し、17位となる。
2015	平成27	3	24	温泉津分団に消防格納庫を新築する。
		8	9	第59回島根県消防操法大会（益田市）に、平成26年5月に開催した第56回大田市消防操法大会において優勝した宅野分団が出場し、5位となる。
		10	1	充足率100%達成
		10	27	普通輸送車1台購入（更新）、小型動力ポンプ1台購入（更新）温泉津分団へ配置する。
2016	平成28	3	6	総務省消防庁より消防団等地域活動表彰を受章する。
		7	31	第60回島根県消防操法大会（出雲市）に、平成27年5月に開催した第57回大田市消防操法大会において優勝した井田分団が出場し、準優勝となる。
		10	14	小型動力ポンプ1台購入（更新）大森分団へ配置する。
		12	20	消防団員の確保にかかる貢献が認められ、総務大臣感謝状を受章する。
2017	平成29	1	29	大田市消防団教育講演会を実施する。
		3	24	波根分団に消防格納庫を新築する。
		7	30	第61回島根県消防操法大会（大田市）に、平成28年5月に開催した第58回大田市消防操法大会において優勝した久手分団が出場し、16位となる。
2018	平成30	1	23	川合分団に消防格納庫を新築する。
		4	9	午前1時32分、大田市東部を震源とする島根県西部地震発生（M6.1、最大震度5強）。
		7	24	鳥井分団に消防格納庫を新築する。
		7	29	第59回大田市消防操法大会において優勝した山口分団が出場予定であった第62回島根県消防操法大会（雲南市）は台風の影響により中止となる。
		11	5	軽輸送車1台購入（更新）湯里分団へ配置する。 小型動力ポンプ1台購入（更新）大代分団へ配置する。
2019	令和元	7	27	第63回島根県消防操法大会（浜田市）に、平成30年5月に開催した第60回大田市消防操法大会において優勝した朝山分団が出場し、17位となる。
		10	8	軽輸送車2台購入（更新）富山・福波分団へ配置する。 小型動力ポンプ1台購入（更新）湯里分団へ配置する。

西暦	元号	月	日	主な出来事
2020	令和2	3	16	総務省消防庁より救助用資機材搭載型小型動力ポンプ積載車の無償貸与を受け、温泉津分団に配置する。
		4	10	第60回大田市消防操法大会において優勝した波根分団が出場予定であった第64回島根県消防操法大会（安来市）が新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となる。 第64回島根県消防操法大会が中止になったことに伴い、第1回大田市消防団幹部会議において、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、第61回大田市消防操法大会が中止となる。
		12	18	消防輸送車2台購入（更新）、多根・仁万分団に配置する。 小型動力ポンプ2台購入（更新）、福波・仁万分団に配置する。
2021	令和3	1	10	令和3年大田市消防出初式が、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となる。
		4	12	第65回島根県消防操法大会が、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となる。
		4	30	第63回大田市消防操法大会が、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となる。
2022	令和4	1	9	令和4年大田市消防出初式が、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となる。
		1	28	消防輸送車1台購入（更新）、馬路分団に配置する。 小型動力ポンプ2台購入（更新）、福波・宅野分団に配置する。
		4	8	第66回島根県消防操法大会が、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となる。
		9	28	大田市消防団員の定員、任免、給与及び服務等に関する条例の一部改正（報酬等）
		11	13	第64回大田市消防操法大会を開催し、優勝 静間分団、準優勝 久手分団、3位 温泉津分団となる。
2023	令和5	12	16	消防輸送車1台購入（更新）、井田分団に配置する。 小型動力ポンプ3台購入（更新）、馬路・湯里・井田分団に配置する。
		3	19	福波分団に消防格納庫を新築する。
		5	21	第65回大田市消防操法大会を開催し、優勝 山口分団、準優勝 大代分団、3位 長久分団となる。
2024	令和6	10	1	大田市消防団員の定員、任免、給与及び服務等に関する条例の一部改正を行う。定数改正844名から780名となる。
		2	6	消防団員等福祉共済の福祉増進事業として日本消防協会より車両の寄贈を受け、大田消防署に配備する。（団支援1）
		3	1	消防輸送車3台購入（更新）、大田・志学・仁万分団に配置する。 小型動力ポンプ5台購入（更新）、仁万・大国・湯里・井田分団（2台）に配置する。

2. 歴代消防団長

歴 代	氏 名	就任年月日	退職年月日
初 代	岩 屋 初 太 郎	昭和29年 4月 1日	昭和30年 9月30日
二 代	福 田 芳 晴	昭和30年10月 1日	昭和41年 4月20日
三 代	福 田 與 三 郎	昭和41年 4月21日	昭和52年12月 4日
四 代	森 脇 光 之 助	昭和52年12月 5日	昭和58年12月 4日
五 代	三 谷 要	昭和58年12月 5日	平成 3年 9月30日
六 代	築 森 砂 雄	平成 3年10月 1日	平成11年 9月30日
七 代	波 多 野 正 信	平成11年10月 1日	平成17年 9月30日
合併初代	波 多 野 正 信	平成17年10月 1日	平成18年 3月31日
二 代	片 岳 俊 治	平成18年 4月 1日	平成20年 3月31日
三 代	中 田 正 敏	平成20年 4月 1日	令和 2年 3月31日
四 代	福 間 達 雄	令和 2年 4月 1日	現 在

3. 組織及び報酬等



令和5年10月1日改正

大田地区												温泉津地区				仁摩地区													
第1ブロック				第2ブロック				第3ブロック				第4ブロック				第5ブロック				第6ブロック									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		
大	大	久	川	久	波	朝	富	長	鳥	静	五十	大	祖	大	水	志	池	山	多	温泉	湯	井	福	仁	宅	大	馬		
田	屋	利	合	手	根	山	山	久	井	間	猛	森	式	代	上	学	田	口	根	津	里	田	波	万	野	国	路		
分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分		
団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団	団		
41	16	20	32	45	24	17	24	36	19	29	34	19	17	27	21	17	21	16	15	40	31	38	27	47	28	27	27		
名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	
109名				110名				118名				84名				69名				136名				129名					
消防団階級別								団長	副団長	本部団員	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計													
人員数								1名	5名	19名	28名	28名	28名	81名	590名	780名													

年額報酬

令和4年9月30日改正

団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
82,500円	69,000円	50,500円	45,500円	40,000円	37,000円	36,500円

出動報酬

令和4年9月30日改正

種別	単位	金額	支給対象
災害	1日	4,000円 8,000円	4時間未満 災害現場に出動した者 4時間以上
警戒	1日	3,000円	警戒勤務に服した者
訓練	1日	3,000円	定例の訓練又は特別訓練に勤務した者
会議	1日	2,800円	団役員会、分団役員会に出席した者

4. 編成装備

区分	編 成 人 員										装備関係	
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計	条例定数	増減	小型動力ポンプ	輸送車
団本部	1	5					19	25	25	0		
大田分団			1	1	1	3	23	29	41	-12	3	3
川合分団			1	1	1	3	25	31	32	-1	3	3
大屋分団			1	1	1	2	11	16	16	0	2	2
久利分団			1	1	1	2	10	15	20	-5	2	2
富山分団			1	1	1	3	19	25	24	1	3	3
朝山分団			1	1	1	2	12	17	17	0	2	2
波根分団			1	1	1	2	17	22	24	-2	2	2
久手分団			1	1	1	4	36	43	45	-2	4	4
鳥井分団			1	1	1	2	12	17	19	-2	2	2
長久分団			1	1	1	3	26	32	36	-4	3	3
静間分団			1	1	1	3	22	28	29	-1	3	3
五十猛分団			1	1	1	4	29	36	34	2	4	4
大森分団			1	1	1	2	12	17	19	-2	2	1
水上分団			1	1	1	2	14	19	21	-2	2	2
祖式分団			1	1	1	2	14	19	17	2	2	2
大代分団			1	1	1	4	28	35	27	8	4	4
池田分団			1	1	1	2	17	22	21	1	2	2
志学分団			1	1	1	2	10	15	17	-2	2	2
多根分団			1	1	1	2	8	13	15	-2	2	2
山口分団			1	1	1	2	10	15	16	-1	2	2
湯里分団			1	1	1	4	23	30	31	-1	4	4
温泉津分団			1	1	1	4	29	36	40	-4	4	4
井田分団			1	1	1	5	36	44	38	6	5	5
福波分団			1	1	1	4	16	23	27	-4	4	4
仁万分団			1	1	1	4	29	36	47	-11	4	4
宅野分団			1	1	1	3	25	31	28	3	2	2
大国分団			1	1	1	3	21	27	27	0	3	3
馬路分団			1	1	1	3	21	27	27	0	3	3
計	1	5	28	28	28	81	574	745	780	-35	80	79

守りたい 未来があるから 火の用心

2024年度全国統一防火標語

消防年報

—令和5年版—

発行 大田市消防本部
(〒694-0064)
島根県大田市大田町大田イ1番地1
電話(0854)82-0650(代表)

編集 大田市消防本部総務課
発刊 令和6年6月